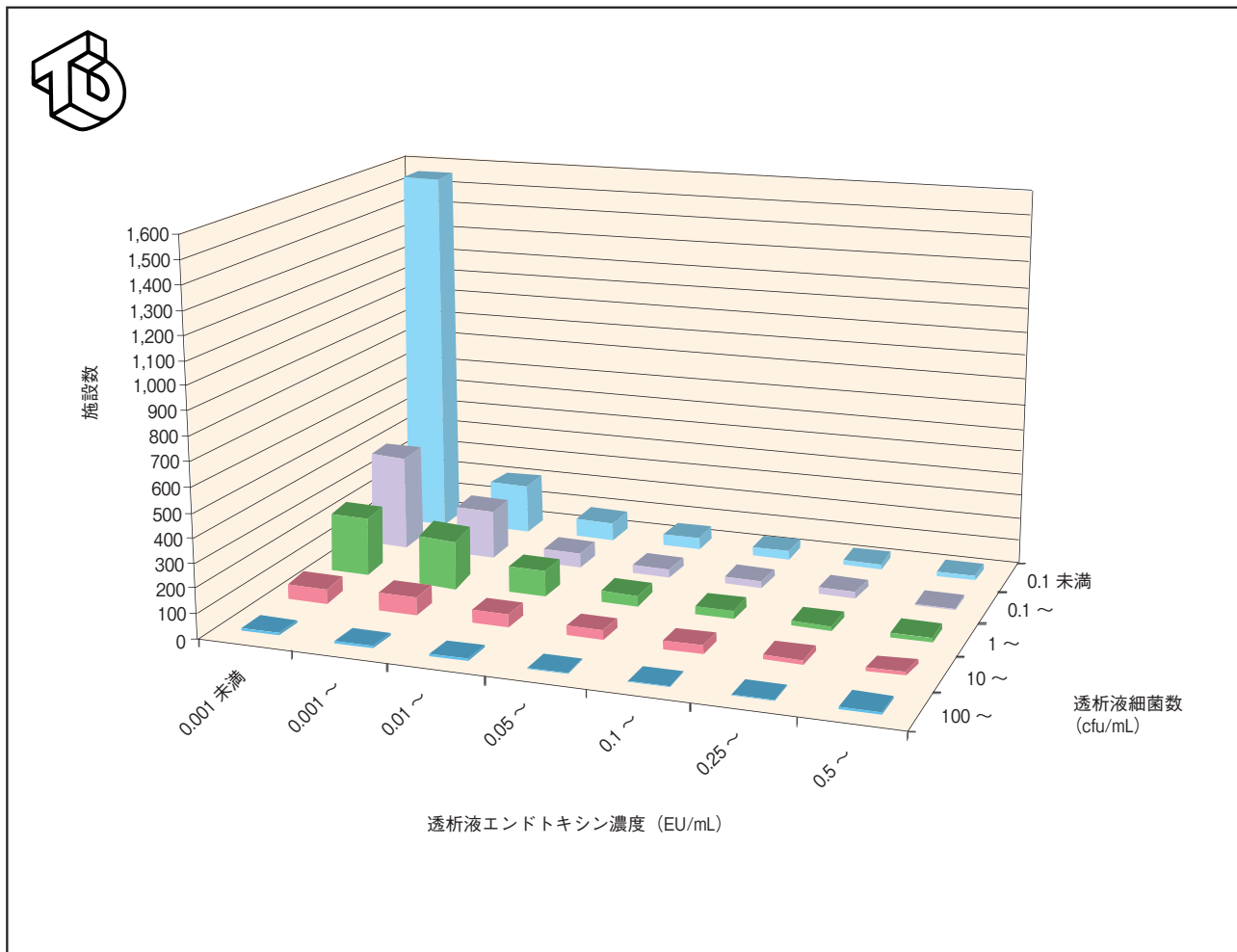


1) 透析液水質管理状況

(4) 透析液エンドトキシン濃度と細菌数 (図表25)



透析液エンドトキシン濃度 (EU/mL)	透析液細菌数 (cfu/mL)						不明	記載なし	総計
	0.1未満	0.1~	1~	10~	100~				
0.001未満	1,504	341	219	76	15	52	128	2,335	
0.001~	185	183	216	78	9	29	56	756	
0.01~	63	42	120	78	8	8	28	347	
0.05~	19	19	30	31	7	8	19	133	
0.1~	17	9	14	24	9	8	12	93	
0.25~	4	9	6	14	4	3	7	47	
0.5~	5	2	6	7	9	4	5	38	
不明	4	1	2	1	1	80	14	103	
記載なし	3	2	2	2	0	21	183	213	
総計	1,804	608	615	311	62	213	452	4,065	

施設調査による集計

解説

超純水透析液の定義である、透析液エンドトキシン濃度0.001EU/mL未満（測定感度未満）かつ透析液細菌数0.1cfu/mL未満を達成している施設は4,065施設中1,504施設（37.0%）であった。透析液エンドトキシン濃度と透析液細菌数に乖離を認める施設があり、検査サンプルの採取方法、ETRF管理を含めた透析機器の洗浄・消毒の適正化が必要である。日本透析医学会水質基準には双方の検査が必要であると記載されている。